

津屋崎地域郷づくり計画



2019年3月策定

津屋崎地域郷づくり推進協議会

目 次

1.郷づくり計画策定の目的等

- (1) 郷づくり計画策定の目的と位置づけ 1
- (2) 計画期間 1

2.地域の現況と課題

- (1) 人口などの現状 2
- (2) 地域づくり計画の検証 4
- (3) 市民アンケート結果 9
- (4) 今後の郷づくりの課題 14

3.将来像 16

4.活動分野・基本方針 17

5.取り組む主な活動 18

- (1) 必須分野で取り組む主な活動 18
- (2) 選択分野で取り組む主な活動 22

6.活動目標の設定 28

参考 31

- (1) 検討の経緯 31
- (2) 検討体制 31
- (3) 市民アンケートの実施概要 32

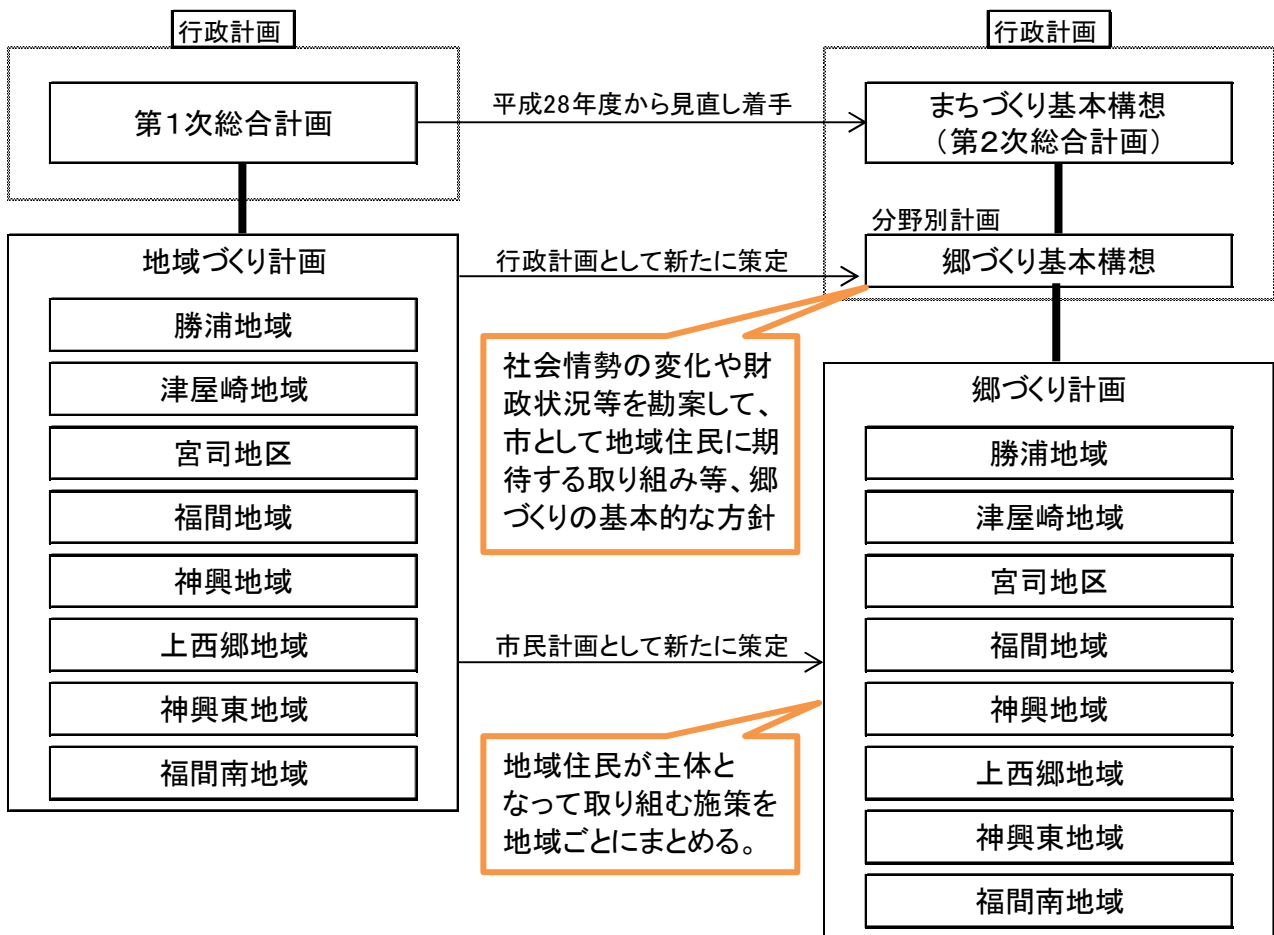
1.郷づくり計画策定の目的等

(1)郷づくり計画策定の目的と位置づけ

第1次福津市総合計画（計画期間：平成19年度～28年度）の策定に合わせて、平成17～18年度に「市民会議」を主体にして概ね小学校区単位の8地域（以下、「郷づくり地域」という。）ごとに地域づくり計画を策定し、郷づくり推進事業に取り組んできました。

平成19年度から約10年が経過したことから、郷づくりのあり方について見直しを行う時期を迎え、市は、平成30年3月に郷づくり地域の役割や支援方針等を体系的にまとめ、今後の郷づくりの指針となる「郷づくり基本構想」を策定しました。

そこで、郷づくり基本構想に基づき、これまでの「地域づくり」のうち地域住民が主体となって取り組む活動を「郷づくり」と再定義し、地域住民が主体となって策定する「郷づくり」の行動計画として本計画を策定します。



(2)計画期間

計画期間は、「福津市まちづくり基本構想（策定中）」の目標年である2030年までとし、津屋崎地域を取り巻く社会情勢や地域課題の大きな変化に合わせて計画を変更できるものとします。

2.地域の現況と課題

(1)人口などの現状

①人口・世帯数について

平成30年3月末現在の本地域の人口は7,907人、世帯数は3,236世帯で、福津市全体に対して人口は12.4%、世帯数は12.2%を占めています。

行政区別にみると、人口及び世帯数が最も多いのは五反田区（1,659人646世帯）で、最も少ないのは生家区（54人25世帯）となっています。

また、この11年間では全体人口で881人（12.5%）、世帯数で729世帯（29.1%）の増加となっています。

②高齢者について

65歳以上の人口は、2,131人で、津屋崎地域の人口の27.0%を占めています。

また、この11年間では、421人（24.6%）増加し、高齢化率で、2.7%の増加となっており高齢化が進んでいることが伺えます。

行政区別にみると、高齢化率が最も高いのは梅津区の46.6%で、11年前に比べ約20%の増加となっています。最も低いのは五反田区の16.3%となっています。

③子どもについて

6歳未満の子どもの数は、489人で、津屋崎地域の人口の6.2%を占めています。（11年前は4.5%）

この11年間では、全体で174人の増加となっていますが、五反田区だけで72人増加しています。また、6歳未満が0人の自治会もあり、11年前と比較してみると7自治会で減少しており、地域によっては深刻な少子化傾向であることが伺えます。

④その他の動向について

津屋崎地域では、津屋崎千軒の古い町並みの古民家を保存し活用していこうと精力的に活動をしている若者たちの交流を見て、その魅力に惹かれ全国から移り住む人たちが増えています。また、平成29年に発足したNPO法人「津屋崎千軒を未来につなぐ会」では津屋崎千軒のシンボルである古い酒蔵の有効利用を目指し、歴史の継承・保全活用等津屋崎地域全体の活性化を含めた活動が進められています。

さらには300数年の伝統ある津屋崎祇園山笠の継承や、春には「よっちゃん祭」、秋には「音楽散歩・手づくり市」など、町並みを活かした様々な取り組みにより、地域を挙げてまちの賑わいを絶えず創出しています。

(平成 19 年 3 月末現在)

行政区	合計人数	男	女	世帯数	6 歳未満	65 歳以上	高齢化率
在自区	263	128	135	79	7	72	27.4%
須多田区	152	73	79	38	4	41	27.0%
大石区	95	44	51	26	7	32	33.7%
生家区	79	34	45	23	2	29	36.7%
梅津区	210	98	112	55	4	56	26.7%
末広区	574	276	298	180	27	84	14.6%
渡区	372	165	207	169	6	165	44.4%
東町 1 区	414	181	233	156	31	91	22.0%
東町 2 区	283	133	150	112	10	104	36.7%
天神町区	616	290	326	226	26	154	25.0%
新成区	219	108	111	65	9	17	7.8%
岡の 2 区	530	240	290	195	30	140	26.4%
岡の 3 区	164	79	85	65	7	45	27.4%
新町区	353	159	194	149	14	124	35.1%
北の 1 区	257	122	135	104	13	94	36.6%
北の 2 区	247	113	134	89	3	78	31.6%
五反田区	1,172	572	600	408	78	144	12.3%
新東区	773	358	415	285	32	194	25.1%
堅川区	253	134	119	83	5	46	18.2%
地域合計	7,026	3,307	3,719	2,507	315	1,710	24.3%
福津市全体	55,996	26,229	29,767	21,026	2,619	12,557	22.4%

(平成 30 年 3 月末現在)

行政区	合計人数	男	女	世帯数	6 歳未満	65 歳以上	高齢化率
在自区	195	90	105	79	3	88	45.1%
須多田区	116	56	60	43	5	43	37.1%
大石区	80	38	42	28	0	32	40.0%
生家区	54	22	32	25	4	24	44.4%
梅津区	161	72	89	73	2	75	46.6%
末広区	729	356	373	277	44	144	19.8%
渡区	369	164	205	175	17	151	40.9%
東町 1 区	563	264	299	220	43	105	18.7%
東町 2 区	373	182	191	153	26	123	33.0%
天神町区	752	365	387	294	50	169	22.5%
新成区	211	113	98	78	5	45	21.3%
岡の 2 区	623	296	327	267	51	173	27.8%
岡の 3 区	162	79	83	69	10	53	32.7%
新町区	301	135	166	140	5	123	40.9%
北の 1 区	261	120	141	120	12	101	38.7%
北の 2 区	223	101	122	97	6	78	35.0%
五反田区	1,659	799	860	646	150	270	16.3%
新東区	873	413	460	367	53	276	31.6%
堅川区	202	102	100	85	3	58	28.7%
地域合計	7,907	3,767	4,140	3,236	489	2,131	27.0%
福津市全体	63,545	29,876	33,669	26,608	4,264	17,709	27.9%

(2)地域づくり計画の検証

①地域の事業年度

年間の事業年表は以下のとおりです。

月	事業	通年事業
4月	総会 よっちゃん祭支援	<ul style="list-style-type: none"> ・定例役員会（毎月第1木曜日） ・ふれあいサロン（毎月第2・4火曜日） ・夜間パトロール（毎月2回） ・子ども見守り隊（登下校時） ・青少年指導員活動（毎月1回校区内パトロール） ・海岸線松林の整備（毎月第2・4土曜日） ・福祉部会（毎月第4木曜日） ・歌いましょう（毎月第1火曜日） ・独居高齢者安否確認電話（毎週火水木） ・子育て部会（年10回） ・郷づくりニュース発行（1～6号） ・広報委員会（年12回）
5月		
6月	健康教室	
7月	健康教室・津屋崎祇園山笠支援	
8月	「盆踊り・盆供養」支援	
9月	健康教室	
10月	敬老会・プリンセス駅伝・津中文化祭・子ども相撲大会・手づくり市・音楽散歩などの支援・先進地視察	
11月	地域防災訓練参加	
12月	津小東雲祭支援	
1月	餅つき大会	
2月		
3月	松植樹祭	

②分野ごとの状況

項目	内容
分野名	防犯・防災分野
将来像 A	津屋崎見守り隊（防犯・防災・交通安全の自衛組織）を組織し地域の安全安心を守ろう！

基本方針 A-1	地域から行政区までを巻き込んで防犯体制をつくり、地域全体で子どもの安全を確保しよう
取り組む活動	<ul style="list-style-type: none"> ・地域パトロールの組織化 ・防犯に関する情報提供と意識強化 ・地域と子どもが顔見知りとなるしかけづくり
取り組み実績や問題点等	<ul style="list-style-type: none"> ・安全安心部会を中心とした夜間防犯パトロールを実施 ・見守り隊による小学生の見守り活動を実施 ・下校時に合わせた散歩を奨励するチラシを自治会の回覧に付し、見守り活動への参加が増えるためのしかけを行った ・見守り隊の活動が高齢者中心で、若者や今後の後継者が不足している
基本方針 A-2	個人から地域まで、防災意識を強化しよう
取り組む活動	<ul style="list-style-type: none"> ・自治会ごとに自主防災組織を組織 ・防災設備の充実 ・防災マップの作成 ・防災訓練などの実施
取り組み実績や問題点等	<ul style="list-style-type: none"> ・19自治会中、全自治会が自主防災組織を設置 ・カメラアステージ裏の倉庫一角に防災備蓄倉庫を設置し、避難用リヤカー、車イス、簡易トイレなど防災装備品を配備 ・防災マップを作成し各戸に配布 ・郷づくりを中心として、自治会単位で防災訓練を実施
基本方針 A-3	運転者・自転車・歩行者のマナーを向上させよう
取り組む活動	<ul style="list-style-type: none"> ・交通安全講習、教室の開催 ・交通危険箇所マップの作成 ・防犯パトロール体制を活用した交通安全の取り組み
取り組み実績や問題点等	<ul style="list-style-type: none"> ・防犯・防災活動の取り組みに専念したこともあり、交通安全活動までは手が回らなかった

項目	内容
分野名	環境分野
将来像 B	豊かな自然を守り、この素晴らしい津屋崎地域を子孫らに引き継ごう！

基本方針 B-1	今ある農地を耕し続け、遊休農地を耕そう
取り組む活動	<ul style="list-style-type: none"> ・ 持続的に農業を営むことができるような経営環境やしくみづくり ・ 住民が農業に関わることのできる取り組みを検討
取り組み実績や問題点等	<ul style="list-style-type: none"> ・ よっちゃん祭への出店を通して、山林、田、畑に筍、みかん、キャベツなどを収穫に行くなど、農家との交流を促進することができた ・ 住民の田畑周りの清掃等を通じた農業への理解促進を目指したが、体制づくりが思うように進まなかった
基本方針 B-2	山の手入れをしよう
取り組む活動	<ul style="list-style-type: none"> ・ 林業から収入を得られるしくみづくり ・ 高齢者や学生などが山林の手入れに参加できるしくみづくり ・ 保安林保全のための取り組み
取り組み実績や問題点等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 毎年恒例の松の植樹祭を実施し、松林の保全と将来世代の松林への愛着を醸成 ・ 年間を通して月に2~4回（土曜）、松林保全活動の一環として草刈や枝木の伐採等を実施
基本方針 B-3	ポイ捨てゴミを減らし、産業廃棄物対策をしよう
取り組む活動	<ul style="list-style-type: none"> ・ ポイ捨て監視パトロールの実施 ・ 環境美化運動の実施 ・ 不法投棄対策の実施
取り組み実績や問題点等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 年2回の全市一斉美化運動に参加し、地域の美観を形成 ・ プリンセス駅伝の前日に、郵便局、JA宗像の皆さんと協力し、コース沿道の清掃活動を実施
基本方針 B-4	海・川の水質をきれいにしよう
取り組む活動	<ul style="list-style-type: none"> ・ 合併浄化槽の普及促進や家庭排水の浄化の取り組み ・ 公共下水道の整備 ・ ため池の管理 ・ 河川等の土手の草刈り ・ 水路の管理の維持
取り組み実績や問題点等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 環境部会を中心に在自川の清掃活動を実施 ・ 参加人数が限られており、参加者をいかに増やすかが課題

項目	内容
分野名	福祉分野
将来像 C	声かけ合って、ふれあい広がる井戸端づくりをしよう！

基本方針 C-1	声かけ支え合って、高齢者が元気に楽しめる井戸端づくりをしよう。～高齢者が若返るまち～
取り組む活動	<ul style="list-style-type: none"> ・「井戸端」のようなたまり場づくり ・お年寄りの安否確認をするなど、声をかけ、支えあう組織づくり ・高齢者が楽しめるような活動、気軽に参加できる雰囲気づくり
取り組み実績や問題点等	・安否確認電話など、高齢者中心の取り組みとなっており、今後の後継者や担い手が不足
基本方針 C-2	情報が集まる場所、発信する場所、広がる所をつくろう
取り組む活動	<ul style="list-style-type: none"> ・たまり場づくり ・さまざまな活動に参加する人が増えるようなしくみづくり
取り組み実績や問題点等	<ul style="list-style-type: none"> ・自治会公民館等を利用したサロンや小福社会活動を実施 ・問題は公民館を持たない区があること ・福祉部会員による電話ボランティア等の勧誘を行ったが、なかなか参加者が増えない

項目	内容
分野名	子育て分野
将来像 D	子どもの幸せを一番に考えた地域のネットワークをつくろう！

基本方針 D-1	子育て・子育てしやすい地域をつくろう～子どもは福津の宝～
取り組む活動	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て・子育てするための支援内容を検討 ・支援窓口やボランティアの活動拠点づくり
取り組み実績や問題点等	<ul style="list-style-type: none"> ・子育てサロンを開設し、必要な物品も揃えた ・全市一斉防災訓練に中学生の主体的な参加を呼びかけ、中学生が非常食の配膳を行うなど、訓練の手助けを行った
基本方針 D-2	身近な施設を活用した居場所、遊び場所をつくろう
取り組む活動	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの居場所づくり ・公民館や公共施設を活用した子育て支援の場づくり
取り組み実績や問題点等	・郷づくりの支援活動の一環として、東日本大震災の被災地である宮城県仙台市の子どもたちを津屋崎に迎え、滞在時の交流活動の拠点として自治公民館を活用した
基本方針 D-3	子どもを中心としたネットワーク・拠点をつくろう
取り組む活動	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て支援のネットワークづくり ・子どもを中心としたネットワークづくり
取り組み実績や問題点等	・子育てのための教育研修の場づくりなど、事業化のための組織体制の整備が課題

項目	内容
分野名	地域活性化分野
将来像E	住んでいる人が変わり、文化・教育を含めたつながりを持ち、交流人口を増やして活気あるまちにしよう！

基本方針 E-1	郷土愛とリーダーシップを育む教育などの人材育成をし、活動組織のネットワーク化を図ろう！
取り組む活動	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア勉強会の開催 ・リーダーの発掘・養成 ・さまざまな活動組織のネットワークづくり
取り組み実績や問題点等	・ボランティア勉強会の開催など企画立案等に関わる人材が不足
基本方針 E-2	まちなみを保存しながら賑わいと生活感のあるまちにしよう
取り組む活動	<ul style="list-style-type: none"> ・古いまちなみの保存・活用 ・空き地や空き家を活用したたまり場づくり ・貸し自転車や主要な観光地などを結ぶ自転車ロードなどを検討・整備
取り組み実績や問題点等	<ul style="list-style-type: none"> ・津屋崎千軒の象徴でもある酒蔵「豊村酒造」の建物調査のための募金活動等に協力 ・長崎市からの視察団を受け入れ、「豊村酒造・蔵」の見学、意見交換会を実施
基本方針 E-3	開発の抑制と推進のバランスを考えて活用しよう～自然は失われたら戻らない～
取り組む活動	<ul style="list-style-type: none"> ・貴重な動植物の保護 ・見学者のマナー向上 ・ヨットレース開催検討 ・農林漁業との連携検討
取り組み実績や問題点等	・干潟見守り隊の活動を通して希少な動植物の保護・観察活動を実施
基本方針 E-4	伝統と文化を守り、伝えるために、魂を伝えよう
取り組む活動	<ul style="list-style-type: none"> ・伝統的な祭りの後継者確保・育成 ・各種イベントの開催・PR
取り組み実績や問題点等	<ul style="list-style-type: none"> ・金刀比羅神社秋季大祭支援として、自治会長にて津屋崎のお仮屋で大名行列を出迎えるとともに、なごみにてトコロ天の振る舞いを実施 ・津屋崎 12 自治会主催による盆供養祭と盆踊り大会を実施

③地域づくり計画の成果

- ・郷づくりという単位で広域的な活動が可能になるなど活動の幅が広がりました。

(3)市民アンケート調査

【市民アンケート結果】

〔津屋崎に関するアンケート内容・結果について〕

津屋崎郷づくりでは、平成30年9月～10月にかけて「津屋崎に関するアンケート」を実施しました。津屋崎地域内138名に加え地域外居住15名の合計153名の方から回答を頂きました。

主な質問と回答結果は、以下のとおりです。

①津屋崎のイメージを一言で表す「場所」を2つ選んでください。

(津屋崎千軒、津屋崎海岸、藍の家、なごみ、津屋崎漁港、恋の浦、在自山、大峰山、東郷公園、津屋崎干潟、波折神社、金刀比羅神社、豊村酒造、カメラアホール、海水浴場、夕陽館、その他)

→回答者全体では、津屋崎海岸が最も多く43%、次いで津屋崎千軒が39%、恋の浦が28%、以下、東郷公園、海水浴場、津屋崎漁港となっており、他の場所はいずれも10%に満たない数値となっています。

※特徴的な部分を回答者の属性から探ると、以下のようになります。

男女別でみると、藍の家と回答した女性の割合が21%であるのに対して男性は3%と低く、藍の家のイメージは女性に対して、より深く浸透しているものと考えられます。

年代別でみると、津屋崎千軒や津屋崎海岸はそれほど割合に差はありませんが、津屋崎漁港や海水浴場と回答した人の割合は30代～40代が高くなっている(25%～30%)のに対して、50代以降は低い割合(4%～16%)となっており、年代による差がくっきりと表れています。

町部と山手で比較してみると、町部では津屋崎千軒が47%で1位、2位が津屋崎海岸45%ですが、山手は津屋崎海岸と恋の浦とが45%で同率1位となっており、町部の方がより自分たちに身近な津屋崎千軒をイメージしているものと考えられます。

②津屋崎のイメージを一言で表す「もの」を2つ選んでください。

(新鮮な魚、新鮮な野菜、津屋崎人形、鯛茶漬、祇園山笠、きれいな海岸、古い町並み、海に沈む夕日、イチゴ(あまおう)、田園風景、よっちゃん祭、松林(白砂青松)、その他)

→海に沈む夕日が40%、新鮮な魚が35%、きれいな海岸が29%、以下、祇園山笠、津屋崎人形、古い町並み等となっています。

※イメージとしては、海を中心としたイメージ(夕日・魚・海岸)が定着しているようです。

③知人や友人たちに紹介したい津屋崎の「観光スポット」を3つ選んでください。

(津屋崎千軒、津屋崎海岸、藍の家、なごみ、津屋崎漁港、恋の浦、在自山、大峰山、東郷公園、津屋崎干潟、祇園山笠、金刀比羅神社、豊村酒造、複合文化会館、海水浴、夕陽館、漁港の朝市、その他)

→津屋崎海岸が43%、津屋崎千軒が35%、津屋崎干潟が31%、以下、祇園山笠、恋の浦、海水浴、漁港の朝市等となっています。

※数ある観光スポットの中でも、海沿いのエリアが知人・友人に紹介したいスポットとして上位を占めています。

④習慣、風習、文化、地域活動などで津屋崎で「自慢」できるものを3つ選んでください。

(人のつながり、近所つきあい、人情味、助け合い、よっちゃん祭、祇園山笠、金刀比羅神社、波折神社、恋の浦海岸、干潟の風景、津屋崎千軒、新鮮な魚、豊村酒造の酒蔵、複合文化会館、美しい海岸、夕陽館の潮湯、大峰山からの眺望、その他)

→美しい海岸が39%、祇園山笠が37%、大峰山からの眺望が29%、以下、新鮮な魚、津屋崎千軒、恋の浦海岸、よっちゃん祭、人のつながり等となっています。

※自慢できるものの上位は、大峰山からの眺望も含めた美しい海岸が最上位で、次いで、伝統文化の祇園山笠となっています。

⑤津屋崎が持っている「強み」は何だと思えますか。3つ選んでください。

(新鮮な魚、新鮮な野菜、海水浴場、古い町並み、災害が少ない、地域の連帯感、郷土愛、素朴な人が多い、祭が多い、自然、津屋崎を愛する人が多い、山と海がある、その他)

→災害が少ないが48%、山と海があるが47%、自然が42%、以下、新鮮な魚、古い町並み、海水浴場、新鮮な野菜等となっています。

※災害が少ないというのが、一番の強みと感じている人が最も多く、次いで山と海を含めた自然が上位を占めています。

⑥津屋崎で「買って欲しい物、食べて欲しい物」はなんですか？

(活魚料理、津屋崎人形、地酒、鯛茶漬け、藍染品、海産物、組み木品、新鮮野菜、その他)

→活魚料理が50%、海産物が34%、新鮮野菜が31%、以下、津屋崎人形、鯛茶漬け、藍染品等となっています。

※活魚料理、海産物の海の幸が最も上位を占めており、次いで新鮮野菜となっています。

⑦生活する上で「困っていること」はなんですか？該当する事を全部選んでください。

(身内の介護、買い物、バス停が近くにない、家の維持管理、病院通い、年金が少ない、田畑の維持管理、自分の体力、交通が不便、ペットのお世話、友人関係、近所付き合い、

飲み屋が少ない、市役所が遠い、近所の空き家、相談者がいない、身内のトラブル、その他)

→交通が不便が55%で圧倒的に多く、次いで市役所が遠いが29%、バス停が近くにないが21%、以下、買い物、年金が少ない、近所の空き家、家の維持管理等となっています。

※困りごとの一番は交通不便となっています。

⑧津屋崎で暮らして行くうえで「充実」したらよいと思うものを3つ選んでください。

(公民館、働き場所、病院、スーパーマーケット、町内の交流、銀行、公園、飲食店、花いっぱい運動、スポーツ施設、交通網、図書館、学童保育、コンビニ、公衆トイレ、伝統行事、高齢者が集う施設、その他)

→交通網が46%で圧倒的に多く、次いでスーパーマーケットが30%、働き場所が29%、以下、銀行、高齢者が集う施設、スポーツ施設等となっています。

※困りごとの一番が交通不便であったこととの関連で、暮らしの充実では、交通網の発達を望む声が最も多くなっています。

⑨津屋崎で暮らして行くうえであったらよいと思う「地域の取り組み」を3つ選んでください。

(健康教室、健康相談、高齢者参加の行事、スポーツ大会、レクリエーション大会、観光資源づくり、交流会、環境美化活動、リヤカーでの食料品販売、運動会、その他)

→観光資源づくりが45%、次いで健康教室が34%、環境美化活動が29%、以下、高齢者参加の行事、健康相談、リヤカーでの食料品販売等となっています。

※今でも観光資源は他地域に比べ多いと思われませんが、新たな魅力づくりとしての観光資源づくりが最も望まれています。

⑩津屋崎の郷づくり活動に「関心」がありましたか？1つ選んでください。

(ある、少しある、どちらとも言えない、あまり関心がない、ない)

→どちらとも言えないが39%、少しあるが22%、あるが21%、以下、あまり関心がない9%、ない2%となっています。

※関心がある人を「少しある」、「ある」人の合計と捉えると、合計で43%の人が関心を持っていることが分かります。

⑪津屋崎の好きなところは、どんなところですか？2つ選んでください。

(人情味がある、人付き合いがいい、よく挨拶をされる、自然がいっぱい、魚が美味しい、野菜が美味しい、のどか、緑がいっぱい、古い文化、祭りが多く、きれいな海岸、その他)

→自然いっぱい51%で圧倒的に多く、次いできれいな海岸が28%、魚が美味しいが26%、のどかが26%、以下、野菜が美味しい、緑がいっぱい等となっています。

※津屋崎の最大の魅力は自然だということが分かります。

【津屋崎に関するアンケート分析結果について】

上記設問に対する回答結果から、津屋崎地域の特徴と今後に求められることが分かりました。

- ①津屋崎地域の「場所」のイメージは、津屋崎海岸や津屋崎千軒との回答が多く、津屋崎の砂浜を中心とした海岸や古い町並みへの愛着が表れています。
- ②津屋崎地域の「もの」のイメージは、海に沈む夕日、新鮮な魚、きれいな海岸である。海に関する「もの」のイメージが強く、海のロマンティックな光景や新鮮な魚介類といった海がもたらす副産物に表れています。
- ③津屋崎地域の友人や知人に紹介したい「観光スポット」は、やはり津屋崎海岸、津屋崎千軒が上位を占めており、ここにさらに津屋崎干潟が加わっています。津屋崎の海と津屋崎千軒の古い町並みは津屋崎地域を語るうえで、切っても切れないものとなっていることが分かります。
- ④津屋崎地域の習慣、風習、文化、地域活動などで「自慢」できるものは、美しい海岸、祇園山笠、大峰山からの眺望が上位を占めており、津屋崎に住む地元民にとって、昔から海水浴等で慣れ親しんだ美しい海岸はもちろんのこと、江戸時代からの伝統行事で、町の活性化にも寄与してきた祇園山笠や大峰山の頂から眺める美しい海岸線の風景が自慢できるものとなっており、思い出の心象風景とつながっているものと思われます。
- ⑤津屋崎地域が持っている「強み」は、災害が少ない、山と海がある、自然との回答が上位に入りました。山と海、自然は、これまでの設問に対する津屋崎のイメージと重なりますが、特徴的な回答として、災害が少ないというのがトップを占めました。日本列島では毎年各地で地震、台風、大雨などにより、さまざまな災害が発生していますが、津屋崎地域はこれまで大規模な災害に見舞われたことはなく、海や山の自然に囲まれ、災害もなく暮らしやすいというのが強みだと感じられていることが分かります。
- ⑥津屋崎地域で「買って欲しい物、食べて欲しい物」は、活魚料理、海産物、新鮮野菜が上位となっています。津屋崎の特徴である豊かな自然を生かした新鮮な海の幸、新鮮な野菜を域外の人に買って味わって欲しいという気持ちが表れています。
- ⑦津屋崎地域で、生活する上で「困っていること」は、交通が不便、市役所が遠い、バス停が近くにないが上位となっており、交通不便の解消が大きな課題となっているほか、市役所津屋崎庁舎が移転したことも生活に影響していることがうかがえます。

- ⑧津屋崎地域で暮らして行くうえで「充実」したらよいと思うものは、交通網、スーパーマーケット、働き場所との結果となり、交通不便な地域、スーパーマーケット等の商業施設や働き場所がない地域といった負の部分が浮き彫りとなっています。
- ⑨津屋崎地域で暮らして行くうえであったらよいと思う「地域の取り組み」は、観光資源づくり、健康教室、環境美化活動が上位の結果となっています。津屋崎地域への観光客の増加や、健康教室を通じた元気な高齢者の増加、ごみのないきれいな町づくりが地域での取り組みとして期待されています。
- ⑩津屋崎地域の住民の郷づくり活動への「関心」は、どちらとも言えないが最も多いものの、「少しある」と「ある」と答えた人の割合が合計で43%あることを考えると、比較的関心は高い方と考えられます。
- ⑪津屋崎地域の好きなのは、自然がいっぱい、きれいな海岸、魚が美味しい、のどかの順で、特に自然がいっぱいと回答が大多数となっています。海を中心とした自然と海の恵みである新鮮な魚が津屋崎の好きなおところとして挙がっています。

(4)今後の郷づくりの課題

①声かけ合って、ふれあい広がる井戸端づくりが必要(→福祉分野)

福祉施策に限らず、誰もが地域の中で孤立しないように声を掛け合うという基本的なことが大切です。また、出かけたくなるきっかけとして、そこに行けば誰かに会えるたまり場が必要で、そこには情報も集まり、ネットワークもできていくだろうと考えました。そこで、声を掛け合って、ふれあえる「井戸端」の場所をつくることが求められています。

②津屋崎地域見守り隊(防犯・防災・交通安全の自衛組織)を中心に、地域の安全安心を守ることが必要(→防犯・防災分野)

現在、子ども見守り隊や青少年指導員、PTAなどがパトロール活動に取り組んでいますが、全体としては参加者が少なく、また、災害時にどうすればいいのかわからない人が多いというのが実情です。今後は、地域の安全・安心を高めていくためには、地域の人を巻き込み増やしていくことが重要です。そこで「津屋崎地域見守り隊」という防犯、防災、交通安全に対する自衛組織を中心に、地域の安全安心を高める必要があります。

③豊かな自然を守り、この素晴らしい津屋崎地域を子孫らに引き継ぐことが必要(→環境分)

環境面では、山や田畑を荒廃させず、海や川を美しくすること、ゴミや産業廃棄物などの不法投棄をさせないこと、希少な生物を守っていくことなどが問題となっていますが、津屋崎には、山、川、そして海があり、これらのかげがえのない自然を守りたいという思いがあります。そこで、これらの豊かな自然を守り、次世代に引き継ぐ必要があります。

④住んでいる人が変わり、文化・教育を含めたつながりを持ち、交流人口を増やして活気あるまちにすることが必要(→地域活性化分野)

素晴らしい計画があっても、それに向かって、住んでいる人が行動し、実現していかなければ地域は良くなっていきません。津屋崎地域の財産はたくさんあります。しかし、津屋崎千軒などでは空き家が増えて、せつかくの古いまちなみが維持できなくなる、美しい海は夏だけしか人が訪れない、お祭りの担い手が減り衰退している等、地域の観光資源、財産として活かしきっていないという現状があります。こういった財産を活かすのは、人の力です。人探し、人づくりをしながら、郷土愛を育み、地域の活性化をすすめることが必要です。そこで、住んでいる私たちが自覚を持ってつながりあい、行動することで地域の魅力を高め、多くの人を呼び込めるような活気あるまちにしていくことが必要です。

⑤子どもの幸せを一番に考えた地域のネットワークをつくることが必要(→子育て分野)

子育ては保護者や学校だけではなく、地域全体で行うものです。大人と子どもが関わり合うような機会を増やし、子どもたちが何を望んでいるのか耳を傾けることや、愛情と熱意を持って接することなどが大切です。また、地域に子どもの居場所があることも大切でしょう。そこで、子どもの幸せを一番に考える地域のネットワークをつくることが求められています。

⑥ 住み慣れた地域での隣近所同士での絆と助け合いが必要(→自治会分野)

同じ地域に住んでいても隣に誰がいるか知らない、付き合いがないなど、地域の絆が次第に希薄になってきています。地震や津波、洪水など大きな災害が発生したときに頼りになるのは隣近所の親しい人たちです。自治会や郷づくり活動を通じて、隣近所の良さや大切さを再発見してもらいたいという願いからも地域の絆づくりが必要となっています。

⑦ 郷づくりの活動を住民に分かりやすく伝えることが必要(→広報分野)

郷づくりの活動を広く住民に知ってもらうために、年に6回広報誌を発行していますが、活動が十分住民に浸透しているかといえば、まだまだ良く知られていないのが実情です。そこで、さらに住民に親しみやすく分かりやすい紙面づくりに取り組む必要があります。

3. 将来像

地域の現況と課題から、本地域が目指す将来像は、以下のとおりです。

将 来 像

海と歴史、ロマンのまち、津屋崎。

～人と自然が共生し、古きよきものを大切にし、
大人から子どもまでが集い・語って・行動する、
安全で住みやすい地域をつくろう～

4. 活動分野・基本方針

将来像の実現に向けて、本地域では活動分野及び分野ごとの基本方針を以下の通り設定します。

分野名		基本方針
必須分野	福祉	1：声かけ支え合って、高齢者の誰もが元気に楽しめる「井戸端」づくりをしよう ～高齢者がいきいきとしたまち～ 2：情報が集まり、発信し、そして広がる場所をつくろう
	防犯・防災	1：地域から行政区までを巻き込んで防犯体制をつくり、地域全体で子どもの安全を確保しよう 2：個人から地域まで、防災意識を強化しよう 3：運転者・自転車・歩行者のマナーを向上させよう
地域の 実態 に 応 じ て 選 択 す る 分 野	環境	1：松林の手入れをしよう 2：ポイ捨てゴミを減らし、廃棄物対策をしよう 3：海・川の水質をきれいにしよう 4：貴重な動植物等の自然を守り、後世に残そう ～自然は失われたら戻らない～
	子育て	1：子育て・子育てしやすい地域をつくろう ～子どもは福津の宝～ 2：身近な施設を活用した居場所、遊び場所をつくろう 3：子どもを中心としたネットワーク・拠点をつくろう
	地域活性化	1：郷土愛とリーダーシップを育む教育などの人材育成をし、活動組織のネットワーク化を図ろう 2：まちなみを保存しながら賑わいと生活感のあるまちにしよう 3：伝統と文化を守り、伝えるために、魂を伝えよう
	自治会	1：郷づくり活動の中心的存在として、住民全体に郷づくり活動を浸透させよう 2：よっちゃん祭や津屋崎のさまざまな伝統文化を通して地域全体を盛り上げよう
	広報	1：郷づくりの取り組みを住民に理解してもらうための紙面を作ろう 2：その時々の特ピックスを写真やわかりやすい文章で紹介しよう

5. 取り組む主な活動

(1) 必須分野で取り組む主な活動

※実施スケジュール … 短期:概ね1～2年 中期:概ね3～5年 長期:概ね6～8年

①福祉分野

基本方針1：声かけ支え合って、高齢者の誰もが元気に楽しめる「井戸端」づくりをしよう
～高齢者がいきいきとしたまち～

<今後取り組む活動>

取り組みの一覧	実施スケジュール			担当	継続・新規
	○：検討時期、◎：実施時期				
	短期	中期	長期		
■井戸端づくり					
<input type="checkbox"/> 自治公民館や空き家等を活用したたまり場の設置★	○	○	◎	地域	継続
<input type="checkbox"/> たまり場の地域による自主管理・運営★	○	○	◎	団体・地域	継続
■支え合う組織づくり					
<input type="checkbox"/> 声をかける人、リーダーの育成	◎	◎	◎	地域	継続
<input type="checkbox"/> 区分別収集時の不燃物の収集・運搬サービスの実施★	◎	◎	◎	自治会・地域	継続
<input type="checkbox"/> 社会的弱者と思われる人を地域で支えられるしくみづくり	◎	◎	◎	地域	継続
<input type="checkbox"/> まごころ給食の実施	◎	◎	◎	地域	継続
<input type="checkbox"/> 安否確認の電話サービスの実施★	◎	◎	◎	地域	継続
<input type="checkbox"/> 元気で健康なお年寄りを支える健康教室の実施	◎	◎	◎	地域	新規
<input type="checkbox"/> 自家用車を持たない独居高齢者等への買い物支援★	◎	◎	◎	地域	新規
<input type="checkbox"/> 地域小福祉会、サロン等の結成促進と活動支援	◎	◎	◎	地域	新規
■高齢者が楽しめる活動と仲間に入りやすい雰囲気づくり					
<input type="checkbox"/> シニアクラブの郷づくりへの参画とその活動の支援	◎	◎	◎	団体・地域	継続
<input type="checkbox"/> 敬老会のイベントや小学校のもちつき大会・東雲祭などへの参加を呼びかけ	◎	◎	◎	学校・地域	継続
<input type="checkbox"/> シャトルバスで出かけるきっかけづくり（利用呼びかけ）	◎	◎	◎	団体・地域	継続

<input type="checkbox"/> 童謡などを合唱する「歌いましょう」への参加を呼びかけ	◎	◎	◎	地域	新規
---	---	---	---	----	----

※★は重点活動

基本方針2：情報が集まり、発信し、そして広がる場所をつくろう

<今後取り組む活動>

取り組みの一覧	実施スケジュール			担当	継続・新規
	○：検討時期、◎：実施時期				
	短期	中期	長期		
■たまり場づくり					
<input type="checkbox"/> 大人も子どもも集える場所づくり（子育てサロン）	○	◎	◎	地域	継続
<input type="checkbox"/> 情報収集の場と勉強の場づくり	○	◎	◎	地域	継続
■参加者が増えるしくみづくり					
<input type="checkbox"/> 自治公民館活動の復帰	◎	◎	◎	自治会・地域	継続
<input type="checkbox"/> リーダーシップの発揮	◎	◎	◎	地域	継続
<input type="checkbox"/> 既存組織の活用	◎	◎	◎	団体・地域	継続
<input type="checkbox"/> 下校時に合わせた散歩 （地域の子どもへの愛のひと声運動）	◎	◎	◎	地域	継続
<input type="checkbox"/> 誰がどんな情報を持っているかの把握	◎	◎	◎	地域	継続

②防犯・防災分野

基本方針1：地域から自治会までを巻き込んで防犯体制をつくり、地域全体で子どもの安全を確保しよう

<今後取り組む活動>

取り組みの一覧	実施スケジュール			担当	継続・新規
	○：検討時期、◎：実施時期				
	短期	中期	長期		
■パトロールを強化し、パトロールする人を増やす、巻き込む					
<input type="checkbox"/> 見守り隊に青少年、指導員、愛の夜間パトロール等を巻き込み、さらに自治会や組を活用したパトロール★	◎	◎	◎	団体・自治会・地域	継続
<input type="checkbox"/> 事業者、シニアクラブ、子どもたちなど、地域のさまざまな人たちとのパトロール協力・連携	◎	◎	◎	団体・地域	継続
<input type="checkbox"/> 元気なお年寄りに参画してもらう	◎	◎	◎	地域	継続

□大人全体で子どもの安全の話し合いの場をつくる	◎	◎	◎	地域	継続
■青色回転灯の導入	◎	◎	◎	地域	継続
■地域防犯拠点を交流センターに設置	◎	◎	◎	地域	新規
■防犯に関する情報共有					
□防犯教室の開催（予防知識）	◎	◎	◎	地域	継続
□有線放送を活用した情報提供	◎	◎	◎	地域	継続
■地域の人と知り合うきっかけづくり					
□子ども110番の家と子どもとの交流	◎	◎	◎	学校・地域	継続
□声かけ、あいさつ運動など地域の大人と子どもとの交流	◎	◎	◎	学校・地域	継続
■個人から地域まで、防犯意識の強化					
□「パトロール中」のステッカーを車などに貼る	◎	◎	◎	地域	継続

※★は重点活動

基本方針2：個人から地域まで、防災意識を強化しよう

<今後取り組む活動>

取り組みの一覧	実施スケジュール			担当	継続・新規
	○：検討時期、◎：実施時期				
	短期	中期	長期		
■防災組織体制の構築					
□自主防災組織の結成（19自治会中全自治会が結成済）	◎	◎	◎	自治会・地域	継続
■防災マップの更新	◎	◎	◎	自治会・地域	継続
■防災訓練の実施★	◎	◎	◎	自治会・地域	継続
■防火水槽付近の違法駐車排除	◎	◎	◎	自治会・地域	継続
■防災設備の充実					
□有線放送の活用・強化による火災・災害時の情報提供	◎	◎	◎	自治会・地域	継続

※★は重点活動

基本方針3：運転者・自転車・歩行者のマナーを向上させよう

<今後取り組む活動>

取り組みの一覧	実施スケジュール			担当	継続・新規
	○：検討時期、◎：実施時期				
	短期	中期	長期		
■交通安全講習、教室の開催	◎	◎	◎	地域	継続

■交通危険箇所マップの作成（事故多発箇所の把握）	◎	◎	◎	地域	継続
■防犯パトロール体制を活用した交通安全の取り組み	◎	◎	◎	地域	継続

(2) 選択分野で取り組む主な活動

① 環境分野

基本方針1：松林の手入れをしよう

<今後取り組む活動>

取り組みの一覧	実施スケジュール			担当	継続・新規
	○：検討時期、◎実施時期				
	短期	中期	長期		
■松の植樹や下草刈りによる松林（保安林）保全					
<input type="checkbox"/> 津屋崎小中学校児童生徒との連携	◎	◎	◎	学校・地域	新規
<input type="checkbox"/> 松林保全ボランティアの勧誘と育成★	◎	◎	◎	地域	新規
<input type="checkbox"/> 松の植樹祭の開催	◎	◎	◎	学校・地域	新規
■市内松林保全ボランティア団体との連携					
<input type="checkbox"/> 松林ウォークラリーの共同開催	◎	◎	◎	地域	新規
<input type="checkbox"/> 松に関する講習会開催	◎	◎	◎	地域	新規

※★は重点活動

基本方針2：ポイ捨てゴミを減らし、廃棄物対策をしよう

<今後取り組む活動>

取り組みの一覧	実施スケジュール			担当	継続・新規
	○：検討時期、◎：実施時期				
	短期	中期	長期		
■ゴミゼロのまちづくり					
<input type="checkbox"/> 監視パトロールの実施などゴミゼロのまちづくり	○	◎	◎	地域	継続
<input type="checkbox"/> 渡半島の西側の漂着物拾い	◎	◎	◎	地域	継続
<input type="checkbox"/> プリンセス駅伝に際しての空き缶やゴミ拾いの実施	◎	◎	◎	団体・地域	継続
■違法広告物撤去の実施	◎	◎	◎	地域	継続

基本方針3：海・川の水質をきれいにしよう

<今後取り組む活動>

取り組みの一覧	実施スケジュール			担当	継続・新規
	○：検討時期、◎：実施時期				
	短期	中期	長期		
■河川の浄化活動の取り組み					
<input type="checkbox"/> 在自川の定期的な清掃活動の実施	◎	◎	◎	団体・地域	新規

基本方針4：貴重な動植物等の自然を守り、後世に残そう

～自然は失われたら戻らない～

<今後取り組む活動>

取り組みの一覧	実施スケジュール			担当	継続・新規
	○：検討時期、◎：実施時期				
	短期	中期	長期		
■動植物の保護（環境保全）					
<input type="checkbox"/> 多く存在する蛸や干潟のアサリ貝などの保護	◎	◎	◎	団体・地域	継続
<input type="checkbox"/> カブトガニ、ウミガメなど希少動物の保護活動	◎	◎	◎	団体・地域	継続
<input type="checkbox"/> ナミキソウなど希少植物の保護	○	◎	◎	団体・地域	継続
<input type="checkbox"/> 砂浜のアオサの処理活動	◎	◎	◎	団体・地域	継続
<input type="checkbox"/> 恋の浦、白石浜のウミガメ調査	◎	◎	◎	団体・地域	継続
<input type="checkbox"/> 自然観察教室の開催	◎	◎	◎	団体・地域	継続
■見学者のマナー向上指導（指導員の数を増やす）	◎	◎	◎	団体・地域	継続

②子育て分野

基本方針1：子育て・子育てしやすい地域をつくろう

～子どもは福津の宝～

<今後取り組む活動>

取り組みの一覧	実施スケジュール			担当	継続・新規
	○：検討時期、◎：実施時期				
	短期	中期	長期		
■子どもや地域のためのボランティアの活動拠点を つくる	◎	◎	◎	団体・地域	継続

基本方針2：身近な施設を活用した居場所、遊び場所をつくろう

<今後取り組む活動>

取り組みの一覧	実施スケジュール			担当	継続・新規
	○：検討時期、◎：実施時期				
	短期	中期	長期		
■公共施設を活用した子育て支援					
<input type="checkbox"/> 地域自治公民館の開放	○	◎	◎	自治会・地域	継続
<input type="checkbox"/> まちおこしセンター（なごみ）の活用	○	◎	◎	地域	継続

基本方針3：子どもを中心としたネットワーク・拠点をつくろう

<今後取り組む活動>

取り組みの一覧	実施スケジュール			担当	継続・新規
	○：検討時期、◎：実施時期				
	短期	中期	長期		
■地域の課題を地域に知ってもらおうきっかけづくり	◎	◎	◎	地域	継続
■子育て支援のネットワークづくり					
□子どもと大人の連携	◎	◎	◎	団体・地域	継続
□出生から成人まで段階別にどう大人が関われるかを考える	◎	◎	◎	地域	継続
□子育てのための教育研修の場づくり	◎	◎	◎	地域	継続
□学校との連携★	◎	◎	◎	学校・地域	新規
□子ども相撲大会開催	◎	◎	◎	地域	新規
□他部会を通しての地域との交流★	◎	◎	◎	自治会・地域	新規
■子育てへの積極的関与					
□体験教室の充実	◎	◎	◎	地域	継続

※★は重点活動

③地域活性化分野

基本方針1：郷土愛とリーダーシップを育む教育などの人材育成をし、活動組織のネットワーク化を図ろう

<今後取り組む活動>

取り組みの一覧	実施スケジュール			担当	継続・新規
	○：検討時期、◎：実施時期				
	短期	中期	長期		
■ボランティアや地域づくりの人材ネットワークづくり					
□既存地域づくり団体のネットワークづくり	◎	◎	◎	団体・地域	継続
□ボランティア勉強会	◎	◎	◎	団体・地域	継続
□団塊の世代の参加支援、Uターン者などからのリーダー発掘	○	◎	◎	団体・地域	継続

基本方針2：まちなみを保存しながら賑わいと生活感のあるまちにしよう

<今後取り組む活動>

取り組みの一覧	実施スケジュール			担当	継続・新規
	○：検討時期、◎：実施時期				
	短期	中期	長期		
■古いまちなみの保存・活用					
□まちなかの宝物発見調査	◎	◎	◎	地域	継続
□藍の家、メッセージ館等の維持管理	◎	◎	◎	団体・地域	継続

基本方針3：伝統と文化を守り、伝えるために、魂を伝えよう

<今後取り組む活動>

取り組みの一覧	実施スケジュール			担当	継続・新規
	○：検討時期、◎：実施時期				
	短期	中期	長期		
■山笠への支援継続（地域活性化へとつなげる）	◎	◎	◎	団体・地域	継続
■伝統文化に多くの住民が関わる雰囲気づくり	◎	◎	◎	団体・地域	継続
■祭りや各種イベントの開催					
□旧福間町と旧津屋崎町の行事を通じた市民の文化交流	◎	◎	◎	地域	継続
□行事・祭りに参加する喜びのPR	○	◎	◎	地域	継続
□よっちゃん祭や音楽散歩・手づくり市への継続支援★	◎	◎	◎	地域	継続
□金刀比羅神社秋季大祭やプリンセス駅伝への「おもてなし」の継続★	◎	◎	◎	地域	新規

※★は重点活動

④自治会分野

基本方針1：郷づくり活動の中心的存在として、住民全体に郷づくり活動を浸透させよう

<今後取り組む活動>

取り組みの一覧	実施スケジュール			担当	継続・新規
	○：検討時期、◎：実施時期				
	短期	中期	長期		
■郷づくりに関する知識や情報の伝達					
□定例会での伝達事項を確実に自治会内住民に伝える	◎	◎	◎	自治会・地域	新規

□郷づくりに関するマニュアルや過去の事績を後任の自治会長に引き継ぐ	◎	◎	◎	自治会・地域	新規
■郷づくりの各部会活動への積極的参加					
□松林保全活動への参加	◎	◎	◎	自治会・地域	新規
□高齢者の見守り活動などへの参加	◎	◎	◎	自治会・地域	新規
□子ども相撲などの子育て活動への参加	◎	◎	◎	自治会・地域	新規
□愛の夜間パトロール活動などへの参加	◎	◎	◎	自治会・地域	新規

基本方針2：よっちゃん祭や地域のさまざまな伝統文化などを通して地域全体を盛り上げよう

<今後取り組む活動>

取り組みの一覧	実施スケジュール			担当	継続・新規
	○：検討時期、◎：実施時期				
	短期	中期	長期		
■よっちゃん祭への参加★	◎	◎	◎	自治会・地域	新規
■地域伝統文化の支援					
□山笠への参加	◎	◎	◎	自治会・地域	新規
□金刀比羅神社秋季大祭接待への参加	◎	◎	◎	自治会・地域	新規
□波折神社秋季大祭への参加	◎	◎	◎	自治会・地域	新規
□渡、楯崎神社や東郷神社の祭への参加	◎	◎	◎	自治会・地域	新規
■プリンセス駅伝での接待	◎	◎	◎	自治会・地域	新規
■音楽散歩・手づくり市への支援	◎	◎	◎	自治会・地域	新規
■盆踊り・盆供養の実施★	◎	◎	◎	自治会・地域	新規

※★は重点活動

⑤広報分野

基本方針1：郷づくりの取り組みを住民に理解してもらうための紙面を作ろう

<今後取り組む活動>

取り組みの一覧	実施スケジュール			担当	継続・新規
	○：検討時期、◎：実施時期				
	短期	中期	長期		
■郷づくり活動の取材の充実					
□各部会活動を積極的に取材★	◎	◎	◎	地域	新規
□各部会から広報担当者へ活動をPR	◎	◎	◎	地域	新規
□ホームページを広報担当者が積極的に利用★	◎	◎	◎	地域	新規
□地域の活動を積極的に取材★	◎	◎	◎	地域	新規

※★は重点活動

基本方針2：その時々の特ピックスを写真やわかりやすい文章で紹介しよう

<今後取り組む活動>

取り組みの一覧	実施スケジュール			担当	継続・新規
	○：検討時期、◎：実施時期				
	短期	中期	長期		
■ 広報編集の技術を学ぶ					
□市の広報担当者を招いての研修会の実施	◎	◎	◎	地域	新規
■ 地域の行事予定表を作成					
□定例の行事で取材対象となる行事の年間予定を把握	◎	◎	◎	地域	新規

⑥活動を広め、参加者を増やす仕組みづくり

<今後取り組む活動>

地域の課題	■津屋崎地域での郷づくり活動に対する課題は、認知度や後継者不足、参加者不足などがあります。自治会長をはじめとした役員の負担も大きいものがあります。
何を	■認知度・参加者不足には、広報・PR媒体の積極的活用。後継者不足には、消防団や子ども会役員等、将来の地域リーダーとの連携。自治会長の負担軽減には、事業・会議の見直しを対象に検討します。
どのように	■広報・PR媒体を積極的に活用は、広報委員会活動を拡充します。消防団や子ども会役員等、将来の地域リーダーとの連携は、交流事業を通じて連携会議を企画します。自治会長の負担軽減は、自治会事業(敬老会、盆踊り等)の郷づくり事業化を検討します。

6. 活動目標の設定

将来像の目標に向けて取り組む活動のうち、重点活動と位置づけた取り組みについては、その達成状況を把握しやすいよう、活動目標値を設定します。

福祉分野の活動目標

分野	福祉分野		
基本方針	声かけ支え合って、高齢者の誰もが元気に楽しめる「井戸端」づくりをしよう ～高齢者がいきいきとしたまち～		
重点活動	活動目標	活動目標値	
・自治公民館や空き家等を活用したたまり場（井戸端）の設置	孤立化防止	各区1箇所	
・たまり場（井戸端）の地域による自主管理・運営	孤立化防止	各区1箇所	
・区分別収集時の不燃物の収集・運搬サービスの実施	良好な住環境の保持	区・分別収集時の完全実施	
・安否確認の電話サービスの実施	孤立化防止	孤独死ゼロ	
・自家用車を持たない独居高齢者等への買い物支援	買い物難民の解消	月2回以上の実施	

防犯・防災分野の活動目標

分野	防犯・防災分野		
基本方針	地域から自治会までを巻き込んで防犯体制をつくり、地域全体で子どもの安全を確保しよう		
重点活動	活動目標	活動目標値	
・見守り隊に青少年、指導員、愛の夜間パトロール等を巻き込み、さらに自治会や組を活用したパトロール	見守り隊の活動を広範に組織化し、パトロールを実施	組織化に向け関係団体等による協議の実施	

基本方針	個人から地域まで、防災意識を強化しよう		
重点活動	活動目標	活動目標値	
・防災訓練の実施	訓練実施により日頃から災害に備える	年1回の独自訓練の実施	

環境分野の活動目標

分野	環境分野		
基本方針	松林の手入れをしよう		
重点活動	活動目標	活動目標値	
・松林保全ボランティアの勧誘と育成	郷づくりの広報等を用いた勧誘の実施	毎年2～3人の新加入	

子育て分野の活動目標

分野	子育て分野		
基本方針	子どもを中心としたネットワーク・拠点をつくろう		
重点活動	活動目標	活動目標値	
・学校との連携	文化祭・東雲祭での活動支援(部門担当)	多くの児童・生徒の参加	
・子ども相撲大会開催	相撲を通しての郷土愛の醸成と伝統文化の継承	小学生全学年の参加	
・他部会を通しての地域との交流	餅つきや松林保全活動等を通して地域の人々との交流を行い伝統文化にも触れる	小中学生の参加数と同等人数の一般市民の参加者の動員	

地域活性化分野の活動目標

分野	地域活性化分野		
基本方針	伝統と文化を守り、伝えるために、魂を伝えよう		
重点活動	活動目標	活動目標値	
・よっちゃん祭や音楽散歩・手づくり市への継続支援	祭やイベント組織の強化	リーダーの育成とメンバー増強	
・金刀比羅神社秋季大祭やプリンセス駅伝への「おもてなし」の継続	祭やイベント組織の強化	リーダーの育成とメンバー増強	

自治会分野の活動目標

分野	自治会分野		
基本方針	よっちゃん祭や地域のさまざまな伝統文化などを通して地域全体を盛り上げよう		
重点活動	活動目標	活動目標値	
・よっちゃん祭への参加	地域の活性化	前年度を上回る協力者・参加者の確保	
・盆踊り・盆供養の実施	伝統文化の継承	前年度を上回る盆踊り参加者の確保	

広報分野の活動目標

分野	広報分野	
基本方針	郷づくりの取り組みを住民に理解してもらうための紙面を作ろう	
重点活動	活動目標	活動目標値
・各部会活動を積極的に取材	郷づくり活動の周知	6回/年以上の広報紙発行
・ホームページを広報担当者が積極的に利用	郷づくり活動の周知	随時のホームページ入力
・地域の活動を積極的に取材	郷づくり活動の周知	6回/年以上の広報紙発行

参考

(1)検討の経緯

評価・検証会議

回	開催日	主な内容
第1回	平成30年6月6日	旧計画施策一覧の実行の有無を検証

市民アンケート

対象又は場所等	実施期間	主な内容
津屋崎地区 19自治会等	平成30年9月6日～ 平成30年10月4日	市民アンケートを作成し、津屋崎19自治会等に対して津屋崎のイメージや課題等を尋ねる

策定会議

回	開催日	主な内容
第1回	平成30年8月9日	叩き台を元に今後の進め方を確認
第2回	平成30年8月22日	作成した叩き台の内容を検討
第3回	平成30年9月26日	前回の叩き台を元に新規の取組み等を検討
第4回	平成31年3月20日	各部会の重点活動等を確認し最終案を決定

(2)検討体制

氏名	役職等	氏名	役職等
山脇 清	会長	御厨 忠男	副会長
新ノ居 操	副会長	柴田 奈緒美	会計
蒼田 徹	自治会長部会長	山口 剛	安全安心部会長
坂口 勝繁	環境部会長	楠田 元明	福祉部会長
阿部 良寛	子育て部会長	舩津 廣見	活性化部会長
川辺 愛敏	広報委員長	大神 常男	事務局員
長濱 光代	事務局員	永島 脩助	地域担当職員
大賀 正晃	地域担当職員	田中 英智	地域担当職員
花田 博行	地域担当職員	赤間 真一	地域担当職員
長城 文也	研修職員	井上 進也	研修職員
福原 雄貴	研修職員		

(3)市民アンケートの実施概要

【調査の対象】

- ・津屋崎地域郷づくり推進協議会関係者及び自治会会員
- ・他地域郷づくり推進協議会関係者

【調査の方法】

- ・調査票の配布：会議時に配付
- ・回収方法：郷づくり事務局に持参

【調査の期間】

- ・平成30年9月6日（木）～平成30年10月4日（木）

【調査の結果】

配布数	回収数	回収率
200件	153件	76.5%

2019年3月

津屋崎地域郷づくり推進協議会

〒811-3304 福岡県福津市津屋崎3丁目19-14

電話 0940-52-1553 FAX0940-52-1553

E-mail sato-tsuyazaki@bz03.plala.or.jp